５７　モルック

青森県立種差少年自然の家

〇活動の概要〇

２つ以上のチームでモルックを投げてスキットルを倒し、先に 50 点ぴったりに得点したチームが勝利するというゲームです。

１　ねらい

身体能力や体力に関係なく、多世代のコミュニケーション促進と、親睦を深めさせます。
（小学校　体育　　中学校　保健体育）

２　場所・人数・期間・時間

① **場所・人数**　屋外（芝生）60 人・プレーホール 60 人・大ホール２０人
（１セット最大６名×3 チーム）

② **期間**　通年

③ **時間**　１時間（人数により変わります）

３　職員の支援について

・物品貸出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。
（依頼があれば活動支援に入ることができます。）

４　準備物

区　　分	準　備　物	備　考
団　　体	・筆記用具	
個　　人	・運動ができる服装・ズック（屋外用、屋内用）	
自然の家	・用具一式 （モルックセット、マット、ブルーシート、得点板）	・スタンダード３セット ・ミニ１セット ・室内用１セット

５　引率者の役割分担

係　名	役　　割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

６　活動の流れ

① 用具の準備
② ルールの説明と諸注意
③ 活動
④ まとめ・片づけ

７　その他

・競技時間の設定はありません。
・１チーム２名～6 名、２チーム以上で行います。
・ほぼ平坦な所ならどこでもでき、プレーヤーに合わせて距離を設定することができます。ただし、コンクリート上では、木製のモルックセット破損の恐れがあるためご遠慮いただきます。

《資料》

50 点を超えると、減点・・・！

50 点ピッタリにならないといけません。
50 点を超えた場合は、**25 点**へ減点されます。
ゲームは継続されます。

投げ方は下投げ

モルックでは**下投げ**がルールです。
上からや、横から投げてはいけません。
下投げであれば、あとは自由に投げて OK です。

スキットルは倒れた地点で立てる

自分のターンで倒すことができたスキットルは、
相手ターンになると、その倒れた位置で立てられます。
ゲームが進むにつれてスキットルが広がり、倒すのが難しくなってきます。

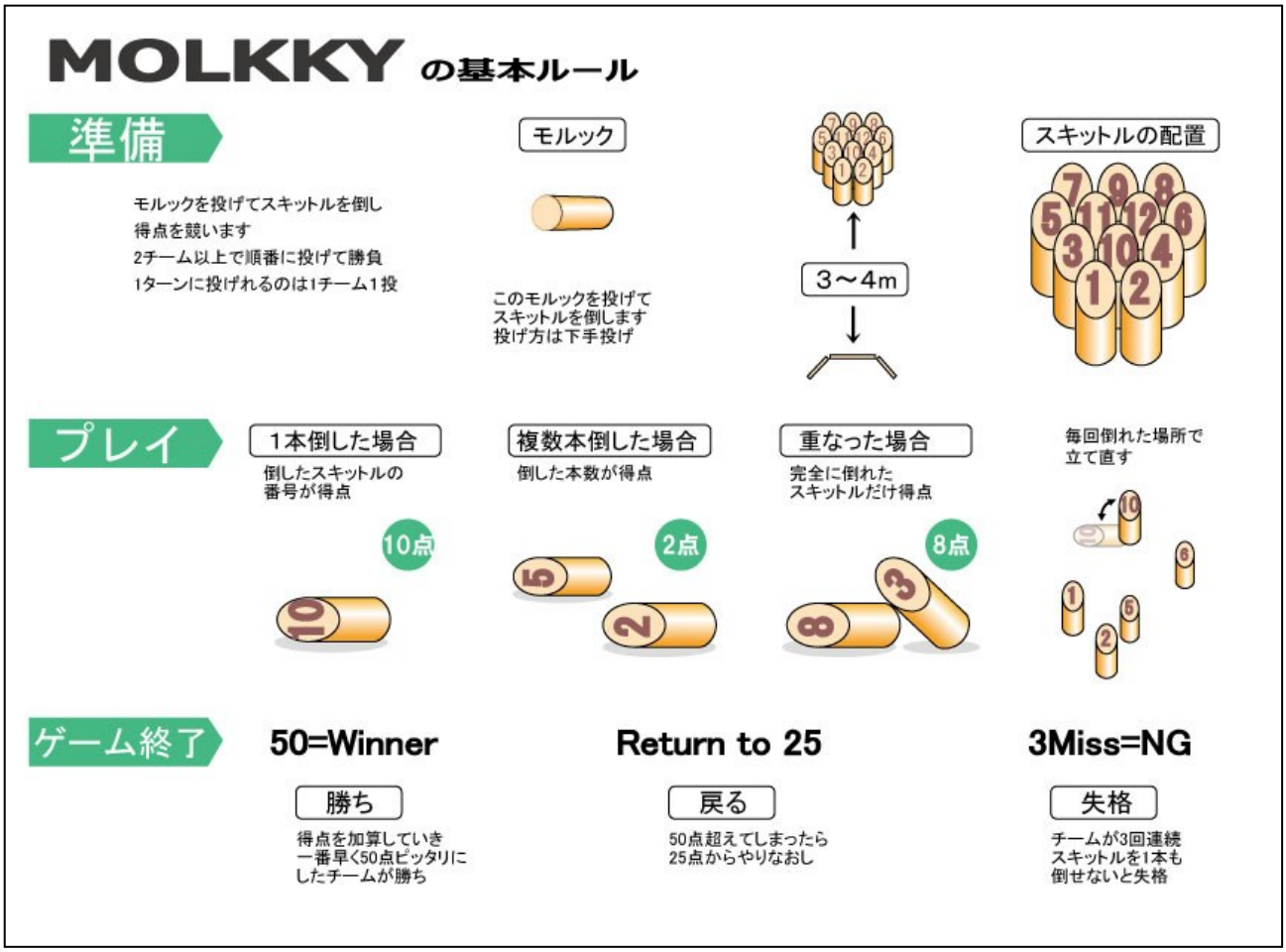
3 回ミスで 0 点！

3 回連続スキットルを倒せなかった場合 0 点と記録され、**失格**となります。

完全に倒れていない場合

スキットルが完全に倒れていない（重なって地面についていない）場合はカウントしません。

インターネット　「カモメトリップ」より転載



※スコア用紙は別紙をコピーしてお使いください。